



自分に克つ「忍耐力を」身に付けよう

校長 伊 東 克 典

2月1日(木) 月頭放送より

先月は寒い日がありましたが、ここ数日は久しぶりの雨で暖かく、三寒四温と言われる季節となってきました。引き続き、健康管理に気をつけて、生活していきましょう。

さて、今日は「忍耐」について話したいと思います。「忍耐」や「根性」などの言葉は、最近、聞くことが少なくなった気がします。我慢するような精神論を振りかざした、何かマイナスなイメージがあるからでしょうか。実際、辞典で「忍耐」を調べると、「我慢すること、辛抱強く耐えること」また、「辛さや苦しみ、怒りをじっと我慢すること」とあります。しかし、時には「忍耐」が必要な時もあり、中学生のみなさんにとっての、「忍耐」という言葉には、次のような意味があると思っています。ひとつは、「自分の感情をすぐに表に出さず、ぐっところえる忍耐」。特に怒りの感情を出して怒鳴り散らすといった行動をこらえることです。もうひとつは、「一旦立てた目標に向かって努力してきたことに対して弱音を吐き、やめてしまおうと思ったことをぐっところえる忍耐」。これは、つらくて、やりきれなく思ったとき、もうひと踏ん張り頑張ることです。三年生の皆さんは、自分の進路実現に向けての、今の状況だと思いますので、理解しやすいと思います。そして、この忍耐には、広く深い心と、自分に打ち克とうとする強い気持ちが必要です。相手に『勝つ』（勝負の勝つ）のではなく、自分に『克つ』（克服の克）ことが大事です。忍耐を実践しようと思うか思わないか、実践したかしないかで、その後の生活も、大きく変わってくるものだと私は思います。「忍耐力」をつけよう、とよく言いますが、これは大人でも難しいものです。中学生のこの時期から、しっかり忍耐力を養い、粘り強く努力できる、「自分に克つ」ことのできる人になれることを願っています。



第47回全日本アンサンブルコンテスト中国大会へ出場したクラリネット三重奏 金賞受賞！

お知らせ

12月の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度も生徒・保護者・学校運営協議会（地域）・教職員が前期・後期でアンケートに参加しました。後日、集計結果についてはさくら連絡網で配信させていただきます。今後の学校運営の参考にさせていただき、反映させていただきます。ご意見ありがとうございました。

令和5年度下松中学校入学説明会 1月26日(金)

先月1月26日(金)に今年度の学校説明会を校区内外の小学校の6年生・保護者を対象に実施しました。まず、体育館で全体会を行い、市教委から部活動の地域移行の説明がありました。その後、学校説明を生徒指導主任が行いました。最後に、下中の1年4組の生徒が集団考動を披露してくれました。会場の皆さんが見守る中、懸命で立派な素早い動きを見せてくれました。全体会后、生徒棟1階に移動し各教科の「体験授業」が実施されました。来月3月21日(木)には仮入学があり、さらに来年度の入学の準備が整っていきます。また、今年は、PTA・CSの中古制服販売を会議室で開催しましたところ、多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました。



体育館の全体会

英語

理科

数学

国語

「知」「徳」「体」部会別研修【2月2日(金)】

「知」「徳」「体」の各部会に分かれて第2回の授業研修会を行いました。今回は「体部会」が都合のため中止、「徳部会」が3年道徳、「知部会」が2年数学で公開授業を実施しました。各部会が提案授業の中でより生徒の理解を深めるために、事前に指導案検討や他クラスでのプレ授業などを実施し準備しました。学校運営協議会の方々、PTAの執行部・各部長・副部長の参加もあり、生徒の様子を参観していただきました。課題設定の仕方やICT機器の活用など、生徒たちもiPadを手に仲間と話し合いながら、一生懸命授業に取り組んでいました。より探究的な学習で深い思考・表現をして、思考力・表現力を育成している様子を見ていただきました。その後の研究協議では、授業や生徒の様子を熱心に忌憚なく話し合いました。

※なお、「体」部会は都合のため中止したので、部会員は、「知」「徳」に分かれて参加していただきました。



随時更新中！ ぜひご覧ください！

下松中学校公式ホームページ&下中日記
QRコードはこちら →
◎行事予定等、ぜひご確認ください。

公式HP



下中日記

